

令和元年度「村長と話そう むらづくり懇談会」会議録（概要）

- 開催日時：令和元年10月27日（日） 午後7時～午後8時34分
- 開催場所：小坂公民館
- 参加者：37名

【平成30年度決算説明後の意見交換】

（意見等）

数年前の議会で共同墓地の案が出たが、進ちよく状況を聞きたい。

（村長）

なろう原霊園は約500区画あるが、売れているのは百数十区画で、まだ余裕がある状況。これからは墓じまいやお墓を持たない人が増えてくる。

昨年から葬儀を扱う業者に働きかけをしたり、村内にあるお寺に合葬墓の状況をお聞きした。また、同じような墓地を運営している市町村の研究をしている。法律に沿った運営の仕方、規模、区民の方がどのくらい必要としているかなどを研究している。宗教が絡む問題でもあり難しい問題。

（意見等）

消火栓ボックスの筒先が盗難に遭った。森井自動車さんが寄付してくれたということで大変感謝している。

（意見等）

春の環境整備の時に、評議員が現地を確認しているが、蛍光灯や電化製品が野積みにされ、つるに覆われた空き家がある。改善するよう所有者に対して連絡をしているのか？

筑北村では、職員が所有者に電話等してはたらきかけをしていると聞いた。村で所有者に連絡を取り、状況を改善していただきたい。

（村長）

平成29年度に空き家の実態調査を行なった。約100戸の空き家の写真を撮り、チェックをした。所有者へのアンケート調査によると、物置として利用している方が多かった。空き家としての商品価値が高いものについては、すでに活用されている。活用に向かず、村の補助金を使って解体した空き家もある。

この写真の空き家の所有者からどのような連絡があったかは確認しないと、今この場では分からない。

ここ以外にも大変な問題となっている場合は、連絡をいただきたい。

(意見等)

除雪の出動基準を教えてください。

(村長)

村で決めている基準は、積雪 15 センチ。除雪は、5 社の業者に委託している。村内でも状況が異なるため、担当職員が役場に泊まり込み随時パトロールして確認し、必要に応じてその区の担当業者に出動を要請している。そのため村内一律に一斉に出動はしていない。

(意見等)

台風 19 号の際、長野市では防災無線が聞き取れなくて避難が遅れたということを知った。

先日の小学校の運動会が順延になった時に、保育園から直接連絡がなく、放送のみだった。聞こえなかったため順延の情報が入らなかった。

聞きづらいところは調整すると聞いたが、行なっているか？

(村長)

防災無線の関係は、当初の村の構想とは異なっており、混乱しているのが現実である。どういった方法がいいか研究しているが、思うように進んでいないことを申し訳なく思う。

(副村長)

防災無線と同時に配信される防災メールにも、ぜひ登録してほしい。

(意見等)

引っ越してきた方たちに、連絡班に加入してもらえない。家を建てたばかりの方にとって、区費、赤い羽根、育成会費など負担である。

(村長)

例えば、地区での「親睦」に対する価値観など世代間で温度差がある。行政から連絡する手段として常会を使わせてもらっているが、自治会の話なので地区の皆さんから知恵を出していただきたい。地区での実情や意見も聞かせていただければありがたい。

(意見等)

清水寺保存会、社協会費は、どのように使っているのか？

(村長)

清水寺保存会に対して、皆さんから寄付をいただき、村費も使って清水寺の維持管理をしている。

(副村長)

山形村社会福祉協議会の会費は、村の介護保険事業とは、全く別である。グループへの補助や「いきがいデイサービス」など地域福祉に使っている。

(意見等)

村として借金がどのくらいあって、どのくらいずつ返していかなければならないのか？

(村長)

起債を借りた場合、一般的な借金のイメージとは違い、借りることによって返済の時に一部が交付税で措置される。

(副村長)

交付税の措置率は、種類により様々である。一般会計で借金の総額が 27 億 5 千万円とあるが、まるまる村の借金ではない。

(教育長)

村で大きな事業を実施するときには、自主財源だけでは賄いきれないため、できるだけ有利なお金を借りて、補助金等も活用している。効率よく運営していくために認められている借金の種類である。

(意見等)

台風 19 号の際に、小坂公民館に 2 家族が避難したと聞いた。大きな災害が起きたとき、各地区の公民館、小学校体育館では収容しきれないと思う。

(村長)

全住民の方が避難所し、収容できる場所はない。災害時は情報を取集し、状況に応じた的確な指示、避難誘導をしていかなければいけない。

(意見等)

地域おこし協力隊がどのような活動をしているのか知らないが、ぜひ村を上げて婚活をしていただきたい。

(村長)

ストレートに婚活パーティーをするといっても敬遠される傾向があるようなので、婚活も目的の一つとした交流ができればと思っている。開催方法は若い人にアイデアを出してもらいながら、協力隊の地元の仲間とのネットワークができるようなことを提案していければ。

(意見等)

防犯灯の LED 化が今年度中に完了するということだが、進ちよく状況は？

(村長)

現在、老朽化している支柱を建て替えるため、地権者の同意をいただく準備をしている。それが終わり次第、工事に着手し、年度内に完了する予定。

(意見等)

連絡班と行政との距離感を感じているので常会に入りたくないが、自分たちで連絡班を作りたいという意見も聞く。連絡班を脱退した人、脱退を考えている人を含め、新しい連絡班を作るとしたら、どういう要件があるのか？世帯数がどのくらいか、行政区をまたいで良いのか、など教えていただければ新しい組織づくりができる。

(村長)

常会という自治組織の上に、連絡班をかぶせて行政が使わせてもらっている。お祭りや三九郎など常会が支えてきた古くからの地域の行事がなくなることも懸念される。今いただいた意見が可能かどうか、問題点などを研究していきたい。

(意見等)

有線テレビで気象データが放送されていないが、いつ直るのか？

圃場に近い場所の降水量などのデータを参考にしていた。上大池、役場の観測地点などのデータが欲しいので検討してほしい。

(村長)

村のホームページでは見ることができるが、気象データをテレビに送出する部分が故障しているため現在テレビで放送されていない。農村情報センター運営委員会で議論もしたが、なるべく費用をかけずにできる方法を研究している。